

# 記入要領

## 個人調書

### 1. 「学歴」の欄について

- ① 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴（大学の別科及び専攻科を含む。）を有する場合、すべての学歴（授与された学位及び称号を含む。）を記入し、それ以外の場合には、最終学歴を記入してください。なお、博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。なお、学位の専攻分野については、授与された時期によって表記が異なりますので、授与された学位記に記載されたとおり正確に記入してください。また、授与機関についても併せて記入してください。
- ② 学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記してください。
- ③ 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の資格についても記入してください。この場合、登録番号等も併記してください。外国における資格にあつては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。
- ④ 学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
- ⑤ 外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記載してください。職歴についても同様に扱ってください。

### 2. 「職歴」の欄について

- ① すべての職歴（自営業、主婦、無職等を含む。）を記入するとともに、職名、地位等についても明記してください。
- ② 各職歴について在職期間を明確にし、現職については「現在に至る」と記入してください。
- ③ 研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
- ④ 過去における教員組織審査において教員の資格があると認められた場合には、当該審査に係る時期、大学の名称、職位及び担当授業科目の名称（大学院にあつては、判定結果を含む。）を記入してください。また、過去における高等専門学校の教員資格の認定を受けた場合には、当該認定に係る時期、高等専門学校の名称、職位及び担当授業科目の名称を記入してください。
- ⑤ 大学教員の職歴については、主な担当授業科目を併記してください。

### 3. 「学会及び社会における活動等」の欄について

- ① 学会及び社会における活動等のうち、専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。
- ② 教育研究上の業績を有する場合、その内容を具体的に記入してください。

### 4 「賞罰」について

「賞罰」の欄には、学会や出版社からの表彰や職務上の表彰や懲戒処分等を記入してください。

## 教育研究業績

### 1) 教育業績について

教育実践の主な業績について活動をまとめてください。  
「年月日」の欄は、西暦でなく元号を用いて記入してください。

- ① 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」
  - ・ 「研究分野」の欄には、科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを三つ以内で記入してください。
  - ・ 「研究内容のキーワード」の欄には、同表の細目を参考に、研究内容を表すキーワードを五つ以内で記入してください。
  - ・ 分科レベルに該当がない場合は、適宜記入してください。
- ② 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」
  - ・ 「事項」の項には、各区分に該当する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を、以下の例を参考に、過去から現在まで簡潔に記入してください。

#### <「教育上の能力に関する事項」の例>

##### ア 教育方法の実践例

- 大学・短期大学・大学院など高等教育機関において授業科目を担当している教員が、学生の理解を図るため、工夫を凝らした分かりやすい授業を実施しているかを記入してください。  
(具体例) ICT 等を活用した授業方法、学生の授業外における学習効果促進のための取り組み  
授業内容のweb 上での公開 等

##### イ 作成した教科書・教材

- 学生の理解を図るために作成し、また、授業や研修指導等において活用している教科書や教材を記入してください。  
(後の「研究業績等に関する事項」との重複も可。その場合「(再掲)」と表記すること。)

##### ウ 教育上の能力に対する大学等の評価

- 学生の理解を図るために行っている教育上の取り組みに対して、大学から特に高い評価を受けた場合のみ記入してください。  
(具体例) 採用決定の際などにおける評価内容  
各大学における自己点検・自己評価での評価結果  
学生による授業評価結果、教員相互による評価結果

##### エ 実務の経験を有する者についての特記事項

- 外部と連携することによって成果を上げた教育に関する取り組みを記入してください。  
(具体例) 大学から受入れた実習生等に対する指導  
訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の専門的実務に関する教育・研修  
大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演 等

##### オ その他

- 学生の理解を図るために行っている取り組みのうち、上記に該当しないものを記入。また、大学教育改善に関する活動概要、教育実績に対する受賞歴など。現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代 GP）または大学教育高度化推進支援プログラムの申請書類作成担当者は、その旨を記述して下さい。  
委員会活動として実施した事項は、原則含めず、含める場合も個別事案ではなく総括して述べてください。  
学内での打ち合わせについては原則含めないでください。  
(具体例) 大学教育改善に関する団体等での活動の概要、教育実績に対する表彰  
国家試験問題の作成 等

#### <「職務上の実績に関する事項」の例>

## ア 特許等

- 特許、実用新案等で担当予定科目に関連するもの

## イ 実務の経験を有する者についての特記事項

- 大学との共同研究
- 訴訟・審判・監査・与信・企業提携・研究開発等の担当実績
- 各種審議会・行政委員会、各種ADR等の委員
- 行政機関における調査官等
- 調査研究、留学、海外事情調査等
- 芸術・体育関係者の場合は作品・発表の概要、社会的活動

## ウ その他

- 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等

## 2) 研究業績について

著書、学術論文等は、「著書」「学術論文」「その他」の3つに区分、年代順（過去→現在）、できれば各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。

### 1 「著書」

- ・「名称」欄には本の表題を記入して下さい。
- ・シリーズもの（全集、講座、叢書等）の1冊である場合は、表題の下段に（ ）書きでシリーズ名及び当該巻数を記入してください。

### 2 「学術論文」：論文集、学術雑誌、学会機関誌、研究報告、紀要等に学術論文として発表したものを記述してください。

- ・学位論文については、その旨明確になるよう記入してください。
- ・当該論文の表題の下段に「修士論文」又は「博士論文」と（ ）書きで明記して下さい。
- ・査読付き論文の場合は、当該論文表題の下に「（査読付き論文）」等付記してください。（「査読付き」とは、学会誌に投稿した際の査読委員による審査等を指す。）

### 3 「その他」：「翻訳」「辞典」「白書」「年鑑」「学会発表」「資料」等を記載してください。

その際、それぞれ適宜区分し、小見出しを記入してください。

- ・「翻訳」は、原著者名、邦訳の表題、原語の表題を記入してください。
- ・口頭の「学会発表」は、この欄に記入してください。

### 4 「単著、共著の別」欄

- ・1冊の本を数人で執筆した場合、当該部分は単著であっても共著として整理して下さい。
- ・「著書」及び「学術論文」は、「単著」又は「共著」とし、編著である場合には、特に「編著」と記述して下さい。
- ・「翻訳」「学会発表」等は、「単独」又は「共同」と記述して下さい。

### 5 「発行又は発表の年月」欄

- ・西暦でなく元号を用いて記入し、学位論文は、大学から学位を授与された年月を記入してください。

### 6 「概要」の項について

(ア) 当該著書等の概要を200字程度で記入してください。

(イ) 当該著書等が共著の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページを記入するとともに、本人の氏名（下線を付すこと。）を含め著作者全員の氏名（多数にわたる場合は主要な共著者の氏名）を当該著書等に記載された順に記入してください。また、本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。

# 記入例

## 教員個人調書

履 歴 書			
フリガナ	ソウゾウ タロウ	性別	男
氏 名	創 造 太 郎	写真  (最近3ヶ月以内に撮影した上半身脱帽のもの)	
生年月日(年齢)	1984年6月1日(満40歳)		
現住所	〒440-8511 愛知県豊橋市牛川町松下〇〇番地		
携帯電話	090-****-****	メール	*****@gmail.com
学 歴			
年 月	事 項		
2002年4月 2006年3月 2006年3月 2006年4月 2008年3月  2008年4月 2010年3月 2012年3月	豊橋創造大学保健医療学部看護学科 入学 豊橋創造大学保健医療学部看護学科 卒業 学士(看護学) 看護師免許証 登録番号〇〇〇〇〇〇 〇〇大学大学院〇〇〇〇研究科〇〇専攻修士課程 入学 〇〇大学大学院〇〇〇〇研究科〇〇専攻修士課程 修了 修士(〇〇〇〇) 修士論文の題目「*****」 〇〇大学大学院〇〇〇〇研究科〇〇専攻博士課程 入学 〇〇大学大学院〇〇〇〇研究科〇〇専攻博士課程 単位取得後退学 〇〇大学大学院〇〇〇〇研究科 博士(〇〇〇) 博士論文の題目「*****」		
記入要領も併せてご確認ください。			
職 歴			
年 月	事 項		
2006年4月 2010年4月 2012年4月  2012年4月 2014年4月	医療法人〇〇〇会〇〇病院 看護師 (2010年3月まで) 〇〇クリニック 看護師 (2012年3月まで) 〇〇大学〇〇学部〇〇学科 助手 (2014年3月まで) 主な担当科目：〇〇〇〇 〇〇大学〇〇学部〇〇学科 非常勤講師(〇〇〇論)(現在に至る) 〇〇大学〇〇学部〇〇学科 専任講師(現在に至る)		
記入要領も併せてご確認ください。			

学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等			
年 月	事 項		
2009年4月 2010年4月 2011年4月 2019年9月 2021年4月	日本〇〇学会 会員 (2018年3月まで) 日本〇〇〇〇学会 会員 (現在に至る) 日本****学会 会員 (現在に至る) 日本〇〇〇学科 第〇〇回学術集会 実行委員 愛知県豊橋市 〇〇〇委員会 委員 (現在に至る)		
<div style="border: 1px solid black; background-color: #cccccc; padding: 5px; display: inline-block;">             記入要領も併せてご確認ください。           </div>			
賞 罰			
年 月	事 項		
2020年9月	日本〇〇〇学科 第〇〇回学術集会 優秀発表賞 受賞		
現 在 の 職 務 の 状 況			
勤 務 先	職 名	学部又は所 属部局の名称	勤務状況
〇〇大学	講師	〇〇学部	〇〇〇〇論 基礎ゼミナール 〇〇演習 I 〇〇演習 II
〇〇大学	非常勤 講師	〇〇学部	〇〇〇〇論
上記のとおり相違ありません。			
2023 年 7 月 1 日			
氏 名 <b>創造太郎</b> 印			

# 教育研究業績書

年 月 日

氏名

印

研究分野	研究内容のキーワード
<p>・「研究分野」の欄には、科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを三つ以内で記入してください。</p> <p>・「研究内容のキーワード」の欄には、同表の細目を参考に、研究内容を表すキーワードを五つ以内で記入してください。</p> <p>・分科レベルに該当がない場合は、適宜記入してください。</p>	

## 教育上の能力に関する事項

事 項	年 月 日	概 要
1. 教育方法の実践例	}	
2. 作成した教科書、教材		
3. 教育上の能力に関する大学等の評価		2ページをご参照ください。
4. 実務の経験を有する者についての特記事項		
5. その他		

## 職務上の実績に関する事項

事 項	年 月 日	概 要
1. 資格、免許	}	
2. 特許等		
3. 実務の経験を有する者についての特記事項		3ページをご参照ください。
4. その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1 2 ⋮	3 ページをご参照ください。			
(学術論文) 1 2 ⋮				
(その他) 1 2 ⋮				